

椎茸普及指導情報 第29-1号



1 単収向上

(1) 発生と気象推移

「3月の降水量は観測史上最少に」、既に新聞報道されております(右欄：大分合同新聞 4/4 付け朝刊より)が、3月は県内の大半の観測地点で観測史上最少の降水量となっています。

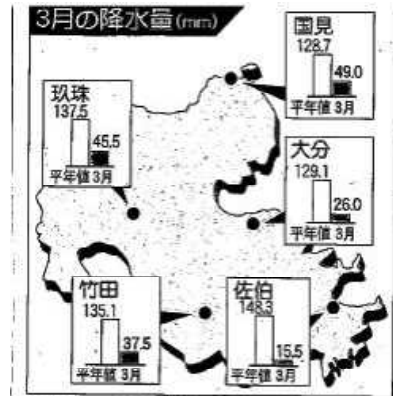
国見 49.0mm (平年 128.7mm)
杵築 33.5mm (平年 122.5mm)
湯布院 39.0mm (平年 122.5mm)

特に中暖地から高冷地でピークが3月下旬以降になった地域については、発生時の雨が無く、せっかく芽切ったしいたげが大きくなりきれない状況にあります。

また、ほだ木が完全に乾いています。
散水設備があるところは散水を！！



(別府市 標高 500m)



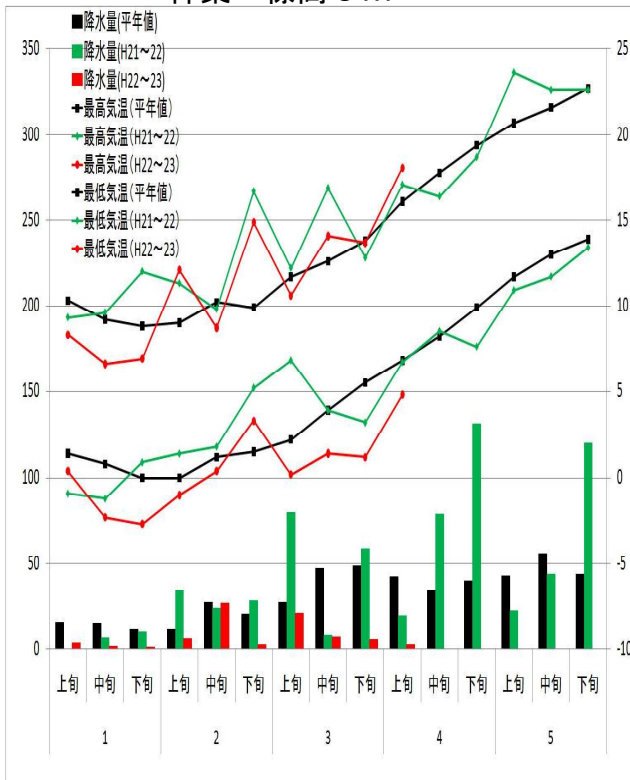
県内、3月の降水量 観測史上最少に

例年3月から4月降雨が続き「菜種播種」と呼ばれてきたが、今年3月の降水量は少ない。3月の降水量は大半の観測地点で観測史上最少。4月の予報も少雨傾向となっている。

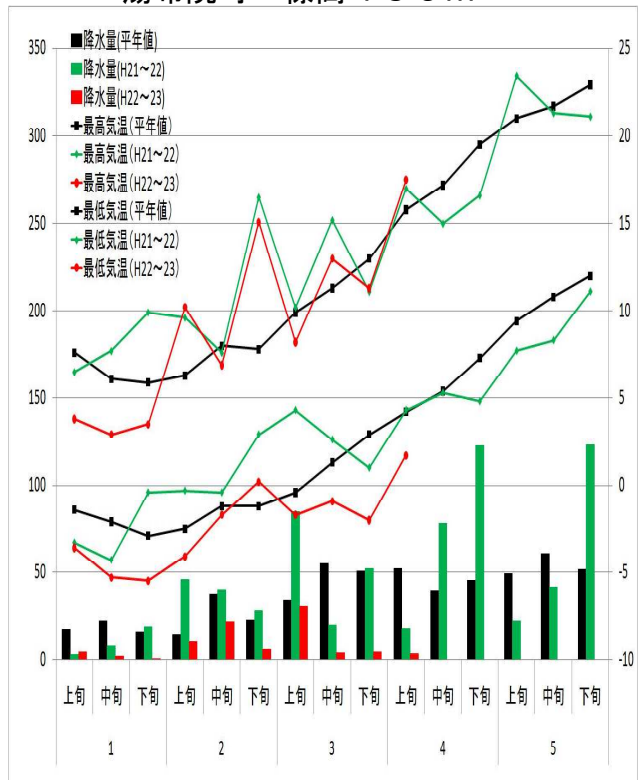
大分地方気象台によると、大分の3月の雨量は26.0mm。17日間はまったく雨が降らず、平年値は46.0mm(同8位)、日田は50.0mm(同3位)、日田は県内で最も降水量が少なかったのは佐伯(15.5mm)で、杵築(16.0mm)、宇目(19.0mm)など、特に系統図で顕著な傾向があった。

同気象台は「大陸から高気圧が張り出し、低気圧の進出する位置が例年より日本列島の南側だったことが影響しているのではないかと考えている。

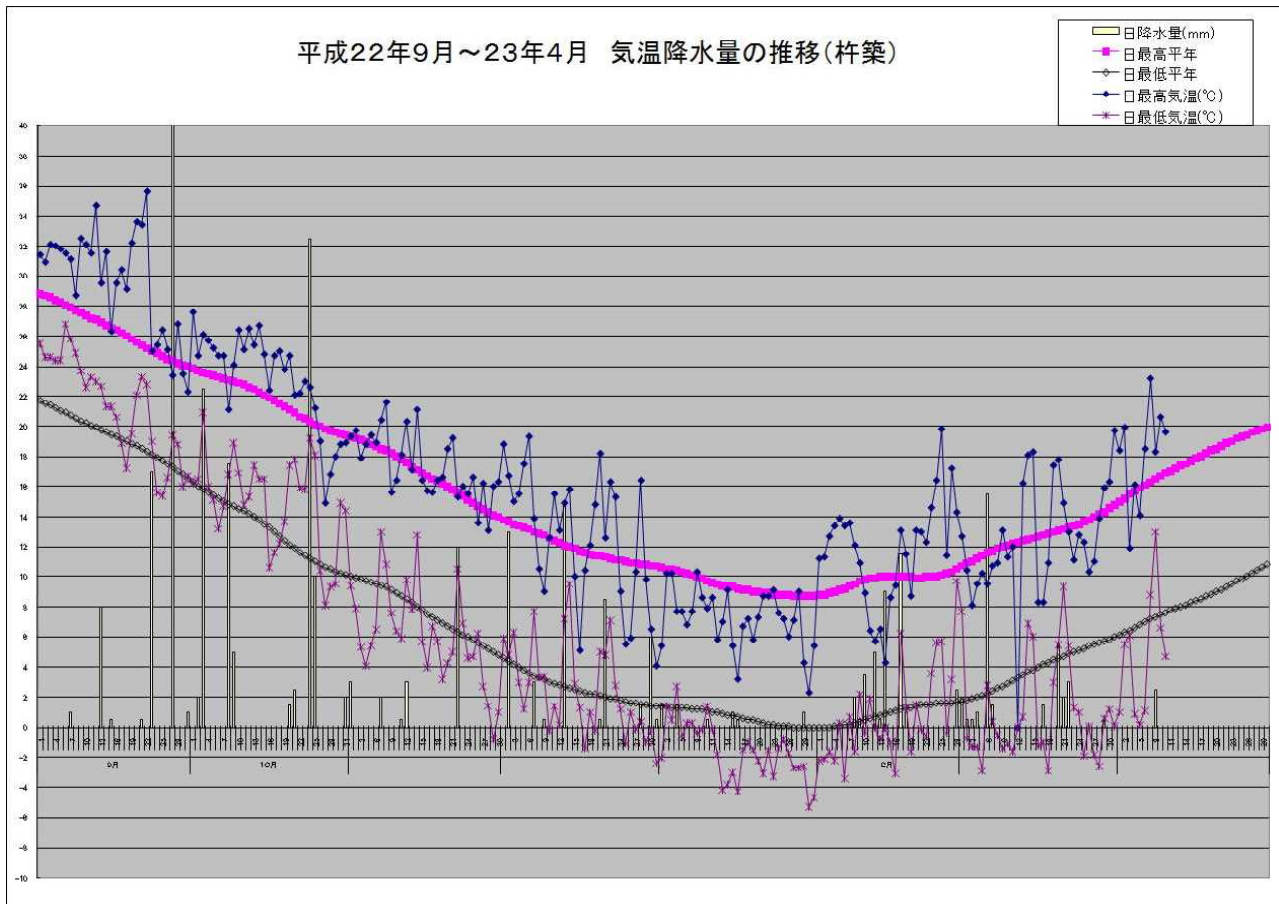
杵築 標高 5 m



湯布院町 標高 435 m

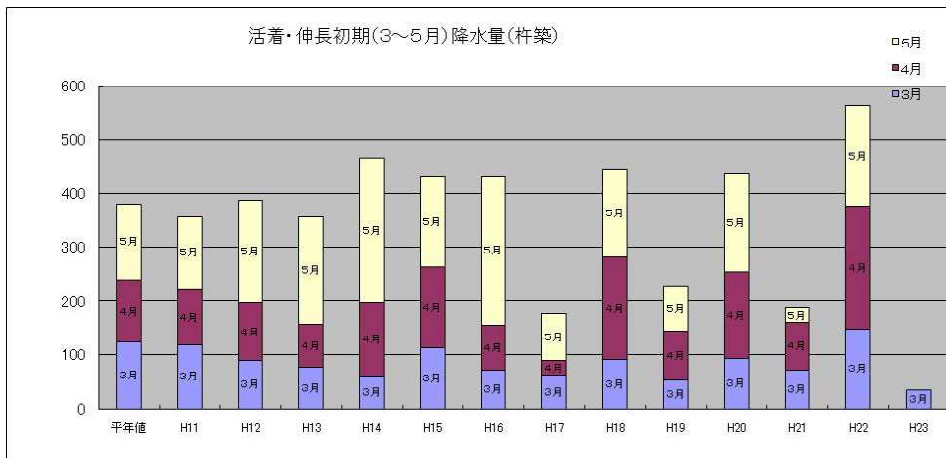


杵築、湯布院の旬毎の日最高気温、日最低気温、降水量の推移です。日ごとの推移です。



(2) ほだ化と気象推移

前号もで触れさせていただいたところですが、今年の春先の雨量は今のところ少ない傾向です。仮伏せを長めにとれるところは、長めに。散水可能であれば散水を。



2 単価向上

(1) 第5回東部地区乾椎茸椎茸品評会の開催について

既にお知らせさせていただいたとおり、**杵築市山香庁舎**にて開催します。

審査4月18日(月)、**表彰式が4月20日(水)**です。

講演者は「大分県林産振興室長 足立紀彦氏」に決まりました。

演題は「トップブランド 大分しいたけへの期待！」です。

皆さんの多くの出品とご参加をお願いします。

大分県東部振興局農山漁村振興部
 林業・木材・椎茸班 担当 坂本 (国東市エリア)
 河野 (別府市・杵築市・日出町エリア)
 TEL0978-72-0156 FAX0978-72-3697